

2学期の漢字

たしかめ 18

91	90	89	88	87
示	興	政	比	得
見学の順路を示す標示板。	私はお菓子作りに興味がある。	国政選挙で当選した国会議員。	右・左、重さを比べて比較する。	賞を得て得意になっている僕の兄。

たしかめ 19

96	95	94	93	92
在	迷	支	個	張
在庫とは、倉庫に在る品物の量。	迷路に迷い込んで出られない。	吹き飛ばぬように支柱を支える。	ホテルの個室に泊まる。	緊張で心が張り詰めていた。

たしかめ 20

101	100	99	98	97
寄	提	検	弁	独
お金を寄せ集め学校にピアノを寄贈。	学級会の議題を提案する。	防災に関する点検を行う。	桜の花弁が空に飛び散った。	家を出て独立し、一人で暮らす。

たしかめ 21

106	105	104	103	102
条	効	貸	仏	余
条約は国と国で決めた約束。	限られた時間を有効に使う。	貸し借りすることを貸借という。	仏壇の仏様に手を合わせる。	勉強や仕事以外の余った時間が余暇。

たしかめ

18

91	90	89	88	87
けんがくのじゅんろをしめすひようじばん。	私はお菓 ^{わたし} しづくり ^か にきようみがある。	こくせいせんきよでとうせんしたこっかいぎいん。	みぎ・ひだり、おもさをくらべてひ較 ^{かく} する。	しょうをえてとくいになっている僕 ^{ぼく} のあに。

たしかめ

19

96	95	94	93	92
ざいことは、そうこにあるしなもののりよう。	めいろにまよい込 ^こ んででられない。	吹 ^ふ きとばぬようにしちゆうをささえる。	ホテルのこしつに泊 ^と まる。	緊 ^{きん} ちようでこころがはり詰 ^つ めていた。

たしかめ

20

101	100	99	98	97
おかねをよせあつめがつこうにピアノをき贈 ^{ぞう} 。	がつきゆうかいのぎだいをていあん	ぼう災 ^{さい} にかんするてんけんをおこなう。	さくらのかべんがそらにとびちった。	いえをでてどくりつし、ひとりで暮 ^く らす。

たしかめ

21

106	105	104	103	102
じようやくはくにとくにできめたやくそく。	かぎられたじかんをゆうこうにつかう。	かしかりすることをたいしやくという。	ぶつ壇 ^{だん} のほとけさまにてをあわせる。	べんきようやしごといがいのあまったじかんがよ暇 ^か 。

たしかめ 22

111	110	109	108	107
賛	価	評	保	件
この議題、賛成反対どちらが多い？	戦争が原因で物価が上がる。	安くてうまいと評判のラーメン店。	保護色は、身の安全を保つため。	事件発生、現場へ急行せよ。

たしかめ 23

116	115	114	113	112
採	略	雑	混	妻
野菜を採りに畑へ行く祖母。	細かい部分は省略する。	帰省客で混雑する新幹線。	男女混合ダブルスの試合。	夫婦は夫と妻の関係。

たしかめ 24

121	120	119	118	117
豊	程	過	能	禁
稲が豊かに実り今年は大豊作だ。	この歌の音程はそれ程高くない。	過ぎた過去、アルバムを見て思い出す。	努力して不可能を可能にする。	道路工事のため通行を禁じる。

たしかめ 25

126	125	124	123	122
増	再	護	減	布
注文が増えて増産する新型車。	別れた友と再び出会い再会を喜ぶ。	迷い犬を保護した。	食べ物量を減らして減量する。	不織布は、糸で織らない布のこと。

たしかめ 22

111	110	109	108	107
このぎだい、さんせい	せんそうが	やすくて	ほ護 <small>ご</small> しよくは、	じけん
はんたい	げんいんで	うまいと	みの	はっせい、
どちらが	ぶつか	ひょうばんの	あんぜんを	げんばへ
おおい？	あがる。	ラーメンてん。	たもつ	きゆうこうせよ。
			ため。	

たしかめ 23

116	115	114	113	112
やさいを	こまかい	きせい	だんじよ	ふう婦 <small>ふ</small> は
とりに	ぶぶんは	いきやくで	こんごう	おっとと
はたけへ	しょうりやくする。	こんざつする	ダブルスの	つまの
いく		しんかんせん。	しあい。	かんけい。
そぼ。				

たしかめ 24

121	120	119	118	117
稲 <small>いね</small> が	この	すぎた	どりよくして	どうろ
ゆたかに	うたの	かこ、	ふかのうを	こうじの
みのり	おんてい	アルバムを	かのうに	ため
ことは	は	みて	する。	つうこうを
だいほうさくだ。	それほど	おもいだす。		きんじる。
	たかくない。			

たしかめ 25

126	125	124	123	122
ちゅうもんが	わかれた	まよい	たべもの	ふ織 <small>しよく</small> ふは、
ふえて	よろこぶ。	いぬを	のりようを	いとで
ぞうさんする	ともと	ほごした。	へらして	織 <small>お</small> らない
しん型 <small>がた</small> しや。	ふたたび		げんりようする。	ぬのの
	であい			こと。
	さいかいを			

131	130	129	128	127
酸	統	任	責	証
酸つばくて酸味の強い夏みかん。	昔から伝わる伝統行事。	運を天に任せる。	失敗を責めず責任はみんなで取る。	身分証明書を見せる。

136	135	134	133	132
財	紀	授	設	素
祖父は苦勞して財産を残した。	紀元前から漢字はあった。	学校の授業で一番好きな体育。	常設の相談窓口 <small>まど</small> を設けた。	君は画家になる素質がある。

141	140	139	138	137
規	旧	築	織	脈
工事中、交通規制が行われた。	今も旧式の機械を使っている。	石垣 <small>がき</small> を築き安土城を築城した信長。	布を織る動力織機を発明した。	山々が連なった山脈。

146	145	144	143	142
基	液	型	貯	則
建物の基を支える基礎工事 <small>そ</small> 。	血液は体中に酸素を運ぶ。	型紙を使って作る模型飛行機 <small>も</small> 。	貯水池の水量が減った。	交通規則を守り安全運転。

たしかめ

26

みぶんしょうめいしよをみせる。	しつぱいをせめずせき任 <small>にん</small> はみんなでとる。	うんを てんにまかせる。	むかしから つたわる でんとうぎようじ。	すっぱくてさんみの つよい なつみかん。
-----------------	--	--------------	----------------------	----------------------

たしかめ

27

きみは がかになる そしつがある。	じようせつの そうだん窓 <small>まど</small> ぐちを もうけた。	がつこうの じゆぎようで いちばん すきな たいいく。	きげんぜんから かんじは あった。	そふは くろうして ざいさんを のこした。
-------------------	--	--------------------------------	-------------------	-----------------------

たしかめ

28

やまやまが つらなったさんみやく。	ぬのを おる どうりよくしよつきを はつめいした。	いし垣 <small>がき</small> を きずき あづちじようを ちくじようした のぶなが。	いまも きゆうしきの きかいを つかっている。	こうじちゆう、こうつうき制 <small>せい</small> が おこなわれた。
-------------------	---------------------------	--	-------------------------	---

たしかめ

29

こうつうきそくを まもり あんぜんうんてん。	ちよすいちの すいりようが へった。	かたがみを つかって つくる 模 <small>も</small> けいひこうき。	けつえきは からだじゆうに さんそを はこぶ。	たてものの もとを ささえる き礎 <small>そ</small> こうじ。
------------------------	--------------------	---	-------------------------	---

たしかめ

30

151	150	149	148	147
格	救	婦	故	額
あの人は明るい性格だ。	人の命を救うため急いで行く救急車。	婦人服売り場で洋服を買った。	交通事故が多発している。	定価の半額でバッグを買った。

たしかめ

31

156	155	154	153	152
殺	義	墓	移	職
害虫を殺す殺虫剤を葉にかける。	日本は民主主義の国だ。	墓地に行き先祖の墓にお参りする。	移住とは、他の土地に移り住むこと。	先生が仕事をしている職員室。

たしかめ

32

160	159	158	157
仮	述	版	貧
仮の分数だから仮分数という。	原稿の記述に沿って意見を述べる。	限定版のゲームが発売された。	貧しい人とお金持ちとの貧富の差。

たしかめ

30

151	150	149	148	147
あのひとはあかるいせいかくだ。	きゆうきゆうしゃ。	ひとのいのちをすくうためいそいでいく	ふじんふくうりばでようふくをかった。	こうつうじこがたはつしている。
				ていかのはんがくてバッグをかった。

たしかめ

31

156	155	154	153	152
がいちゆうをころすさっちゆう剤 <small>ざい</small> をはにかける。	にほんはみんしゅしゅぎのくにだ。	ぼちにいきせんぞのはかにおまいりする。	いじゆうとはほかのとちにうつりすむこと。	せんせいがしごとをしているしよくいんしつ。

たしかめ

32

160	159	158	157
かりのぶんすうだからかぶんすうという。	げん稿 <small>こう</small> のきじゆつに浴 <small>そ</small> っていけんをのべる。	げんていはんのゲームがはつばいされた。	まずしいひととおかねもちとのひんぷのさ。